

「副鼻腔各基板の解剖学的角度と眼窩内側壁の関連性に関する検討」 へご協力をお願い

【目的】

内視鏡下副鼻腔手術において、安全かつ確実な手術操作を行うためには、副鼻腔の複雑な立体構造を正確に把握することが不可欠です。本研究は、過去に当院で撮影された CT 画像を用いて、副鼻腔の各基板（隔壁）の付着角度や眼窩（目のくぼみ）内側壁との解剖学的な位置関係を 3 次的に明らかにすることを目的としています。

【研究の対象】

2022 年 10 月 1 日～2026 年 4 月 1 日の期間に、当院耳鼻咽喉科を受診し、副鼻腔・顔面領域の CT 撮影検査を受けられた患者さん（※通常の診療において撮影された画像のみを対象とします）

【研究の目的・方法】

- ・目的：副鼻腔内の各基板（中鼻甲介基板など）と眼窩内側壁の解剖学的な相関を明らかにし、内視鏡下副鼻腔手術における術中合併症（眼窩内損傷など）を防ぐための安全な指標を確立することです。
- ・方法：当院の電子カルテシステムおよび画像サーバーに保存されている過去の CT 画像データを抽出し、画像解析ソフトを用いて各基板の角度や眼窩との距離を後方視的に計測・評価します。本研究は過去のデータのみを使用するため、患者さんに新たな検査や処置などの負担が生じることは一切ありません。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より 2028 年 3 月 31 日迄

【外部への試料・情報の提供について】

本研究で得られたデータは当院内でのみ解析され、原則として他の医療機関や研究機関などの外部へ試料・情報を提供することはありません。

【個人情報の取扱いについて】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

【医学上の貢献】

本研究によって副鼻腔各基板と眼窩内側壁の立体的な関係性が明らかになることで、内視鏡下副鼻腔手術における重要な解剖学的指標（ランドマーク）が提供されます。これにより、術中の眼窩損傷などの重大な合併症リスクを低減し、将来の手術の安全性と治療成績の向上に大きく貢献することが期待されます。

【本研究に対する研究利益相反（COI）】

なし

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
情報等が当該研究に用いられることにご了承頂けない場合には研究対象としません
ので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じる
ことはありません。

研究責任者

国立病院機構 別府医療センター 耳鼻咽喉科

氏名 松永 崇志、川本 聡

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766